

日本フィル&サントリーホール
にじくら トークと笑顔と、音楽と



第 10 回 指揮: 鈴木優人
©Marco Borggreve



ハープ: 吉野直子
©Akira Muto



第 11 回 指揮: 角田鋼亮
©Makoto Kamiya



ヴァイオリン: 前橋汀子
©岡本隆史



第 12 回 指揮: 広上淳一
©Masaaki Tomitori



ヴァイオリン: 扇谷泰朋
ヴィオラ: 安達真理



ナビゲーター: 高橋克典(全公演)

平日 2 時のクラシックコンサートシリーズ「にじくら」
俳優の高橋克典がご案内する大人のトーク付き名曲コンサート
サントリーホールで贅沢な時間を過ごし、自然に“笑み”がこぼれて“元気に”

2026 年に共に記念の年を迎えるサントリーホール（開館 40 周年）と日本フィルハーモニー交響楽団（創立 70 周年）は、平日の 2 時にお届けする「日本フィル&サントリーホール にじくら」を 2026 年 5 月 1 日(金)、9 月 2 日(水)、11 月 5 日(木)の 3 回(いずれも 14:00 開演)、大ホールで開催します。

平日 2 時のクラシックコンサート「にじくら」は、親しみやすいトークと共に、上質な演奏で名曲をお楽しみいただき、マチネシリーズです。様々な世代のライフスタイルの多様化を背景に、平日の午後に贅沢な時間をお過ごしいただき、“笑顔”があふれる“心の元気”をサポートしていきます。

シリーズの顔となるナビゲーターとして音楽全般に幅広い関心を持つ俳優:高橋克典が出演し、人気・実力共に兼ね備えた指揮者・ソリストとのトークが好評です。第 10 回は世界で活躍するハーピスト吉野直子が奏でるヘンデルの協奏曲、鈴木優人(指揮)が鮮やかに導くメンデルスゾーン「イタリア」をお届けします。第 11 回は日本のヴァイオリン界を牽引してきたレジェンド・前橋汀子による名曲集や、角田鋼亮(指揮)が描く、生き生きとしたベートーヴェン「田園」をお楽しみいただけます。本シリーズおなじみの広上淳一(指揮)とともに贈る第 12 回は日本フィルのソロ・コンサートマスター扇谷泰朋とヴィオラ客演首席奏者安達真理による協奏交響曲、そして躍動感溢れる『ボレロ』をはじめとする名曲の数々で、オーケストラの中の楽器に光を当てます。第 12 回チケット購入者限定企画として、公演後のアフタートーク「よじくら」を開催します。広上淳一と高橋克典がコンサートでは話せなかったことを深掘りしていきます(抽選・定員有)。また各回 13:40 からは約 10 分間のオルガン・プレコンサートを開催し、サントリーホールが誇る世界最大級のオルガンの壮大な響きをお楽しみいただけます。チケット価格もリーズナブルに設定し、1 回券を購入するよりもお得な 3 公演セット券や、1 回券の S 席ペアをご用意しています。

※公演詳細はこちら(各回の公演詳細はリンク内「シリーズ公演はこちら」)からご覧ください。

https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20260501_M_2.html

[写真・資料のご請求、ご取材・お問合せ]

サントリーホール 広報部 TEL03-3505-1002 FAX03-3505-1007 [suntory.jp/HALL/](https://www.suntory.jp/HALL/)

日本フィルハーモニー交響楽団 広報部 TEL03-5378-6311 FAX03-5378-6161 <https://japanphil.or.jp/>

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL0570-55-0017(10:00~18:00、休館日を除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB suntoryhall.pia.jp

日本フィル・サービスセンター TEL03-5378-5911(平日 10:00~17:00)

日本フィル e チケット <https://eticket.japanphil.or.jp/>

日本フィル&サントリーホール

にじクラ トークと笑顔と、音楽と

Japan Philharmonic Orchestra and Suntory Hall Weekday Matinee Concert Series

【日時・出演・曲目】

第10～12回共通

日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

ナビゲーター：高橋克典 Katsunori Takahashi, Navigator

第10回

2026年5月1日（金）14:00 開演（13:20 開場） ※オルガン・プレコンサート 13:40～

指揮：鈴木優人 Masato Suzuki, Conductor

ハープ：吉野直子* Naoko Yoshino, Harp

ベートーヴェン：序曲『レオノーレ』第3番 ハ長調 作品72b

Ludwig van Beethoven: *Leonore* Overture No. 3 in C Major, Op. 72b

ヘンデル：ハープ協奏曲 変ロ長調 HWV 294*

George Frideric Handel: Harp Concerto in B-flat Major, HWV294

メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 作品90「イタリア」

Felix Mendelssohn: Symphony No. 4 in A Major, Op. 90, “Italian”

第11回

2026年9月2日（水）14:00 開演（13:20 開場） ※オルガン・プレコンサート 13:40～

指揮：角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, Conductor

ヴァイオリン：前橋汀子* Teiko Maehashi, Violin

サン＝サーンス：序奏とロンド・カプリッチョーソ イ短調 作品28*

Camille Saint-Saëns: Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op. 28

マスネ：『タイスの瞑想曲』*

Jules Massenet: *Méditation de Thaïs*

丸山貴幸 編曲：My Favorite Songs（テネシーワルツ～愛の讃歌～川の流れのように）*

arr. Takayuki Maruyama: My Favorite Songs (Tennessee Waltz ~ Hymne à l'amour ~ Kawa no Nagare no Yō ni)

ベートーヴェン：交響曲第6番 ヘ長調 作品68「田園」

Ludwig van Beethoven: Symphony No. 6 in F Major, Op. 68, “Pastorale”

第12回

2026年11月5日（木）14:00 開演（13:20 開場） ※オルガン・プレコンサート 13:40～

指揮：広上淳一 Junichi Hirokami, Conductor

ヴァイオリン：扇谷泰朋*（日本フィル ソロ・コンサートマスター） Yasutomo Ogitani, Violin

ヴィオラ：安達真理*（日本フィル 客演首席） Mari Adachi, Viola

デュカス：『ラ・ペリ』の前奏用ファンファーレ

Paul Dukas: Fanfare to Precede *La Péri*

格林カ：オペラ『ルスランとリュドミラ』序曲

Mikhail Ivanovich Glinka: *Ruslan and Lyudmila*, Overture

ジャゾット：「アルビノーニのアダージョ」ト短調

Remo Giazotto: Adagio in G Minor, “Albinoni's Adagio”

モーツァルト：ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K. 364 より第3楽章*
Wolfgang Amadeus Mozart: The 3rd Movement from Sinfonia Concertante in E-flat Major for Violin and Viola, K. 364

ロッシーニ：オペラ『ウィリアム・テル』序曲
Gioachino Rossini: *Guillaume Tell*, Overture

グリーグ：組曲『ホルベアの時代から』作品40 より 第1曲「前奏曲」、第4曲「エア」、第5曲「リゴードン」
Edvard Grieg: *Fra Holbergs tid* Suite, Op. 40, Excerpts

ラヴェル：『ボレロ』
Maurice Ravel: *Boléro*

【会場】サントリーホール 大ホール

【主催】日本フィルハーモニー交響楽団／サントリーホール

【チケット料金・発売】

(3公演セット券)

3公演セット S席 16,200円 3公演セット A席 11,100円 (全席指定、消費税込)

日本フィル各種会員、サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売

2026年1月15日(木) 10時～21日(水)

一般発売

2026年1月22日(木) 10時～4月24日(金)

※先行期間中はサントリーホール窓口での販売はございません。

※3公演セット券は、サントリーホールと日本フィルのみの取り扱い。

(1回券)

S席 6,200円 A席 4,200円 P席 3,500円 S席ペア 12,000円 (S席×2枚) (全席指定、消費税込)

第10回

日本フィル各種会員、サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 **2026年1月22日(木) 10時～1月28日(水)**

一般発売 **2026年1月29日(木) 10時～**

第11回

日本フィル各種会員、サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 **2026年4月23日(木) 10時～4月29日(水)**

一般発売 **2026年4月30日(木) 10時～**

第12回

日本フィル各種会員、サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 **2026年7月7日(火) 10時～7月13日(月)**

一般発売 **2026年7月14日(火) 10時～**

※先行期間中はサントリーホール窓口での販売はございません。

※S席ペアは、サントリーホールと日本フィルのみの取り扱い。

日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911 (平日10:00～17:00)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (オペレーター対応 10:00～18:00、休館日を除く)

サントリーホール窓口 10:00～18:00、休館日を除く

※18:00以降開演の公演がある場合は開演時刻まで営業いたします。

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB suntoryhall.pia.jp (24時間受付)

※メンバーズ・クラブは要事前登録(会費無料・WEB会員は即日入会可)

日本フィルeチケット <https://eticket.japanphil.or.jp/>

チケットぴあ t.pia.jp

イープラス eplus.jp

ローソンチケット l-tike.com

◎サントリーホール&日本フィルのリハーサル体験

コンサート直前の日本フィルのリハーサルと、様々なこだわりがあるサントリーホールのホワイエ周りを体験できます。（各回開場前開催、定員最大20名、無料／抽選あり）

◆申込方法：日本フィル Googleフォーム（詳細は、各回チラシやWEBでご確認ください）

◆お問合せ：日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911(平日 10:00～17:00)

◎公演後のアフタートーク「よじくら」

〈第12回公演限定〉広上淳一マエストロとナビゲーターの高橋克典によるトークセッション。

コンサートではお話できなかったことを深掘りしていきます。（抽選あり／無料／定員あり）

◆申込方法：後日発表（詳細は、各回チラシやWEBでご確認ください）

※内容に変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。（URL=suntory.jp/HALL/）

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

【プロフィール】

■指揮：鈴木優人 Masato Suzuki, Conductor

バッハ・コレギウム・ジャパン（BCJ）首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者／クリエイティヴ・パートナー、関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2025年1月にBCJ ヨーロッパ公演にて自身の補筆校訂版によるモーツァルト『レクイエム』を7都市で指揮。11月にパリ管弦楽団と初共演し、現地で好評を博した。これまでBCJ オペラシリーズにてモンテヴェルディ『ポッペアの戴冠』、ヘンデル『リナルド』（第19回佐川吉男音楽賞受賞）などを上演。Bunkamura Produce のモーツァルト・オペラシリーズでは、『魔笛』『ドン・ジョヴァンニ』に続き、26年2月、『フィガロの結婚』（美術：隈研吾）にBCJと共に取り組む。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。

東京藝術大学卒業および同大学院修了、ハーグ王立音楽院修了。第71回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。九州大学客員教授。

X / @eugenesusuzuki

Facebook & Instagram / masatosuzukimusic

■ハープ：吉野直子 Naoko Yoshino, Harp

ロンドン生まれ。6歳よりロサンゼルスにて、スーザン・マクドナルドのもとでハープを学ぶ。1985年第9回イスラエル国際ハープコンクールに参加者中最年少の17歳で優勝。これまでに、世界各地でソロ・リサイタルを行うとともに、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、フィラデルフィア管、小澤征爾、メータ、クレメル、パユなど、国内外の主要オーケストラ、指揮者、ソリストと数多く共演を重ねている。ハープの新作にも意欲的に取り組み、武満徹『そして、それが風であることを知った』、細川俊夫『ハープ協奏曲』など初演した作品は数多い。2016年より自主レーベルのグラツィオーソ（grazioso）による新たな録音プロジェクトを開始。最新盤は『ハープ・リサイタル～Intermezzo～』。国際基督教大学卒業。21年度毎日芸術賞特別賞を受賞。東京藝術大学客員教授。

■指揮：角田鋼亮 Kosuke Tsunoda, Conductor

東海高校卒業後、東京藝術大学大学院指揮科修士課程、ベルリン音楽大学国家演奏家資格課程修了。2008年、カラヤン生誕100周年記念の第4回ドイツ全音楽大学指揮コンクール第2位入賞。ベルリン・コンツェルトハウス管、ブランデンブルグ響、上海歌劇院民族管、N響、読響、都響、東響、東京フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、九響などと共演している。15年よりセントラル愛知交響楽団の指揮者を務め、19年より常任指揮者に就任。16～20年大阪フィルハーモニー交響楽団指揮者、18～22年仙台フィルハーモニー管弦楽団指揮者を歴任するなど、いま日本で最も期待される指揮者の一人として各地にて活躍の場を拓いている。24年度よりセントラル愛知交響楽団音楽監督を務めている。

■ヴァイオリン：前橋汀子 Teiko Maehashi, Violin

5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後桐朋学園「子供のための音楽教室」、桐朋女子高等学校にて斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに師事。17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院（現サンクトペテルブルク音楽院）日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで学んだ。その後、ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ、スイスでヨーゼフ・シゲティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管などの名楽団、メータ、ロストロポーヴィチ、小澤征爾など世界の一線で活躍するアーティストとの共演を重ねている。近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開。これまでに日本芸術院賞、第37回エクソンモービル（のちにENEOS音楽賞と改称）音楽賞洋楽部門本賞、紫綬褒章、旭日小綬章を受章。

■指揮：広上淳一 Junichi Hirokami, Conductor

尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳でキリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。ノールショッピング響、コロンバス響など欧米のオーケストラで数々のポストを歴任。コンサートへボウ管、イスラエル・フィル、ロンドン響、サンクトペテルブルク・フィルなどへも客演を重ねる。日本では2022年まで14年にわたり京響常任指揮者を務め黄金時代を築いた。現在、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスト・リーダー、マレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

■ヴァイオリン：扇谷泰朋 Yasutomo Ogitani, Violin

桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）、桐朋学園大学音楽科を経て1998年よりベルギー王立音楽院に留学し2000年修了。桐朋学園大学在学中に第62回日本音楽コンクールに入選。ロイヤルチェンバーオーケストラにてコンサートマスターとして活動し、また同オーケストラとソリストとしても共演する。04年7月より九州交響楽団コンサートマスター、06年4月より日本フィルのソロ・コンサートマスターを務める。その他、宮崎国際音楽祭、JTアートホール室内楽シリーズ、セイジ・オザワ 松本フェスティバルなど多方面で活躍。これまでに村山秀孝、富岡雅美、福島紫、徳永二男、イーゴリ・オイストラフに師事。24年より Larsen Artist として活動中。

■ヴィオラ：安達真理 Mari Adachi, Viola

桐朋学園大学音楽科卒業。ウィーン国立音楽大学室内楽科を経て、ローザンヌ高等音楽院修士課程（最高点）、同音楽院ソリスト修士課程修了。2013年よりインスブルック交響楽団副首席奏者を務め、バンベルク交響楽団には首席奏者として客演。21年より日本フィルハーモニー交響楽団ヴィオラ客演首席奏者。これまでにヴァイオリンを篠崎功子、ヴィオラを店村眞積、ジークフリート・フューリンガー、ギラド・カルニ、今井信子、室内楽をヨハネス・マイスルに師事。ソリスト、室内楽奏者としても精力的に活動し、録音作品も多数にのぼる。

■ナビゲーター：高橋克典 Katsunori Takahashi, Navigator

神奈川県横浜市生まれ。1993年『抱きしめたい』で歌手デビュー。俳優として「サラリーマン金太郎」「特命係長 只野仁」などのヒット作を得る。近年では2020年大河ドラマ「麒麟がくる」、22年秋NHK朝ドラ「舞いあがれ」、25年日本テレビ「放送局占拠」に出演。25年6月には主演を務めるNHK BS時代劇「大岡越前8」が放送。出演映画22年5月『20歳のソウル』、25年11月『栄光のバックホーム』が公開。25年12月には舞台『忠臣蔵』が明治座にて上演。BSテレビ東京「ワタシが日本に住む理由」レギュラー出演、bayfm78「GROOVIN' ON THE ROAD」ではメンバーソナリティとしてレギュラー出演中。

■日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。質の高い音楽を届ける「オーケストラ・コンサート」、音楽との出会いを広げる「エデュケーション・プログラム」、音楽の力で様々なコミュニティに貢献する「リージョナル・アクティビティ（地域活動）」という三つの柱に加え、2011年の東日本大震災以来「被災地に音楽を」届ける活動を継続している。これらの活動は高い評価を受け、第16回後藤新平賞を受賞。首席指揮者にカーチュン・ウオン、桂冠名誉指揮者小林研一郎、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）広上淳一という指揮者陣を中心に年間150回を超えるオーケストラ公演を行う。芸術性と社会性を両輪とし、「温かさ」「人に寄り添う」土壌を大切にしながら、あらゆる人々へ、世代へ、地域へ、音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。1994年に杉並区と友好提携を結び、本拠地とする。

公式ホームページ <https://japanphil.or.jp/> 公式 X @Japanphil Instagram @japanphil.official